

happy!’とやりだした。というのは  $-2.4$  という数字は私の古い予想である  $-7/3$  にそっくりだからである。

Businger は “A note on free convection” の話をしたが、これは全く机上の空論にすぎない。  $U=0$ ,  $u_* = 0$  の状態を仮定しての話であるから、こんなことを自然状態で探せるはずはない。

10日の excursion は Mt. Palomar の天文台ゆきであ

った。

Working group に入れられたが、Moscow でこりているのでこわった。オクさんと Mexico へちょっと立ち寄り、買いものとして Columbia の新居へもどったのは12日であった。

(June 17, 1972. Columbia, Mo.)

## 第17期 第3回常任理事会

### 議 事 録

時 日 昭和47年10月16日 (月) 14.00~18.30

場 所 気象庁観測部会議室

出席者 磯野, 中山, 河村, 丸山, 二宮, 駒林, 川村, 大井, 窪田, 神山, 各常任理事

列席者 中村庶務委員

#### 報 告

1. 9月30日, 本年度学会奨励金受領者について全理事に書面審査を依頼した。その結果は次のとおりであった。

带状降雨帯の研究	可24	否1
リファレンス・サイクロメーターの(WMO型通風式乾湿計)実験的研究	可24	否1
主として暖候期のうず状じょう乱の研究	可24	否1

2. 10月5日, 朝日賞候補者として山本義一会員の大気放射学とその応用に関する研究を推薦した。

3. 9月29日, 人事院総裁に対し学会議会議長から国家公務員採用試験に「地球物理コース」を設けるよう申し入れた。

4. 気象研究所の筑波移転に関する経過を天気に掲載し学会員に知らせるため気象研究所の学会員に原稿4枚程度の意見書を書いて貰うよう依頼した。

#### 議 題

1. 学会の経理状況について

- 学会の経理たてなおしのため次のことが検討された。
- (1) 天気, 集誌の頁数を予算計画以内におさえる。また, 運営費をできるだけ節約する。
  - (2) 年度末の支払いを1カ月分延ばす。
  - (3) 経理の合理化のため会費前納とする。
  - (4) 別刷代を変更する。
  - (5) 集誌のページチャージ。
  - (6) 正野記念論文集を研究機関にアナウンスし購入を依頼する。

2. 事務局員の退職手当について

事務局と会計, 庶務理事の間で話合ってまづ給与原案を作った上で検討する。

3. (財)東レ科学技術賞および研究助成候補者の推薦について

2件の申請を提出されたテーマについて専門の委員において審議した上で推薦の可否を決めることとした。(北川理事担当)

4. 八塚事務局員の停年を1年延長することを承認する。

承認事項 大熊武司ほか4名の入会を承認